

数科学探究Ⅱ 数学課題研究ルーブリック評価票 (2021.9作成)

実施日 () 月 () 日

班番号 ()

3年 () 組 () 号 氏名 ()

※それぞれの観点(項目)において、提出された論文をもとに数値評価を行う。

	評価の観点	4	3	2	1
		十分達成できている	おおむね達成できている	努力は認められるが達成できていない	達成できていない
1	文章量と構成	A4用紙7枚以上の文章量があり、構成(テーマ、目的、研究方法、結果、考察、結論等)が明記されている	A4用紙5枚以上の文章量があり、構成(テーマ、目的、研究方法、結果、考察、結論等)が明記されている	A4用紙3枚以上の文章量があり、構成(テーマ、目的、研究方法、結果、考察、結論等)が一部明記されている	文章量(A4用紙3枚未満)及び構成(テーマ、目的、研究方法、結果、考察、結論等)の明記がされていない。
2	先行研究	複数の参考文献を調べ、記載が適切であるとともに、研究内容に十分活かされている	参考文献を調べ、記載が適切である	参考文献を調べているが、記載が不適切である	参考文献を調べていない
3	文章校正・校閲	誤字脱字がなく、文章表現が適切である	誤字脱字はないが、文章表現に適切でない部分がある	誤字脱字が一部(5カ所以内)あり、文章表現に適切でない部分がある	誤字脱字が一部(6カ所以上)あり、文章表現に適切でない部分がある
4	研究テーマと目的	自らの課題意識から研究に着手し、強い好奇心で研究を進めている	自らの課題意識から研究に着手し、興味がさらに高まった	研究を進めるにつれて興味を抱く事柄があった	自分の興味を持った事柄を見いだせていない
5	研究方法	研究方法が具体的に示されており、再現可能であるとともに、独自性のあるものとなっている	研究方法が具体的に示されており、再現可能である	研究方法の具体性と再現可能性のどちらかが不十分である	研究方法の具体性がなく、再現可能性がない
6	結果と考察	結果に対する考察が適切になされている	結果に対する考察がなされているが、不十分である	結果と考察のどちらかが記載されている	結果も考察も記載されていない
7	感想と今後の課題	感想が適切に述べてあり、今後の課題や研究意欲につながっている	感想が述べてあり、今後の課題が記載してある	感想と今後の課題のどちらかが不十分である	感想がなく、今後の課題も示していない
8	数科学探究の学びの活用	推論による課題設定や具体的な実験から予想を立て証明する方法、現象の数式へのモデル化、データサイエンス等、これまでの数科学探究の学びを活かした発展的な課題研究となっている	推論による課題設定や具体的な実験から予想を立て証明する方法、現象の数式へのモデル化、データサイエンス等、これまでの数科学探究の学びを活かした課題研究となっている	推論による課題設定や具体的な実験から予想を立て証明する方法、現象の数式へのモデル化、データサイエンス等、これまでの数科学探究の学びを活かしているが、わかる記述がない	数科学探究の学びが活かされていない

評価

※これまでの学んできた数科学探究の教材は、天草高校ホームページのSSH開発教材に公開してあります。